

報道関係者各位
プレスリリース

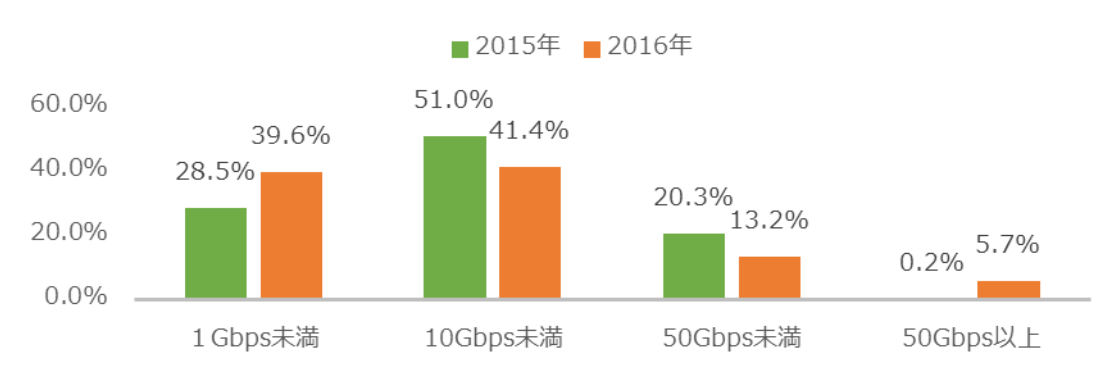
2017年3月22日
株式会社シーディーネットワークス・ジャパン

「2016年度 DDoS 攻撃の動向レポート」を公開

－IoT 機器攻撃ツールが公開され 50Gbps を超える大型 DDoS 攻撃が頻発－

シーディーネットワークス・ジャパン（東京都新宿区、以下 CDNetworks）は、2016 年度の DDoS 攻撃の動向をまとめ分析したレポート（以下 本資料）「2016 年度 DDoS 攻撃の動向レポート」を本日発表いたしました。

本資料は、CDNetworks の DDoS 防御対策サービス「クラウド・セキュリティ DDoS」を提供している国内外のお客さまを対象に、2016 年 1 月～12 月の 1 年間に渡って収集した様々な DDoS 攻撃パターンとトレンドを分析し、その推移と今後の動向予測について分析結果をまとめています。



<グラフ：DDoS 攻撃のトラフィック規模分布>

本資料の DDoS 攻撃のトラフィック規模分布の統計によると、2016 年の平均攻撃トラフィックは 6.8 Gbps で 2015 年よりも 1% 増えています。1Gbps 未満の攻撃が 11% 増えたにもかかわらず、全トラフィックの平均値が上がっているのは、2015 年には 1 度きりだった 50Gbps 以上の攻撃が、2016 年は 26 回も発生しているためです。これら、50Gbps 以上の大規模攻撃は、2016 年 4 期（10 月～12 月）に集中的に発生していますが、これは 9 月末に IoT 機器を踏み台にした攻撃ツール「Mirai」が一般公開され、これを利用した攻撃が増えたことが深く関わっています。

目次（一部抜粋）：

1. 2016年のトピックス&世界で発生した主要な DDoS 攻撃
2. DDoS 攻撃の動向-CDNetworks データベース数値からの考察
3. 2017年 DDoS 攻撃の動向予測

「2016年度 DDoS 攻撃の動向レポート」の完全版は、下記よりダウンロードいただけます。

<http://www.cdnetworks.co.jp/data/whitepaper.html#wp-21>

次なるターゲットは“IoT”です。攻撃者は既に IoT 機器を踏み台にしたボットネットを形成し、これを利用した大規模攻撃を始めています。今までは脅威を感じなかったスマートフォンを含む全てのインターネットに繋がる機器が、DDoS 攻撃の踏み台とされる時代となり、今後想像を絶する規模の攻撃が発生するかもしれないことを予め考慮しておく必要があります。

CDNetworks は、引き続きグローバル規模のセキュリティ脅威に対抗しつつ、2017 年はさらに進化した大規模攻撃に耐えうる鉄壁の DDoS 攻撃防御システムをお客様に提供して参ります。

「クラウド・セキュリティ DDoS」のサービス概要については、下記よりご確認ください。

http://www.cdnetworks.co.jp/service/cloud_security_ddos.html

以上

About CDNetworks

CDNetworks は、コンテンツ・デリバリ・ネットワーク(CDN)サービス専門企業として、世界中に分散配置する 200 を超える配信拠点(PoP)において日々 40,000 以上のウェブを高速化しています。独自開発のグローバル高速配信プラットフォームを活用した大規模なサービス力で、エンタープライズ・アドテック・ソフトウェア・e コマース・ハイテク・メディアおよびゲームなど幅広い業界のお客様へサービスを提供しています。中国や東南アジア、そしてインド、中東、ロシア、アフリカ、中南米などの新興市場においても自社 PoP によって企業のグローバルな配信をサポートしている、唯一の、そしてアジア最大級のグローバル企業です。2000 年に設立された CDNetworks は、日本・韓国・中国・シンガポール・英国、独国、そして米国にオフィスを構えています。詳細については、<http://www.cdnetworks.co.jp> をご覧ください。

[本件に関するお問い合わせ先]

株式会社シーディーネットワークス・ジャパン

マーケティング担当 増山慈子

TEL: 03-5909-3373 Mail: marketing@cdnetworks.co.jp